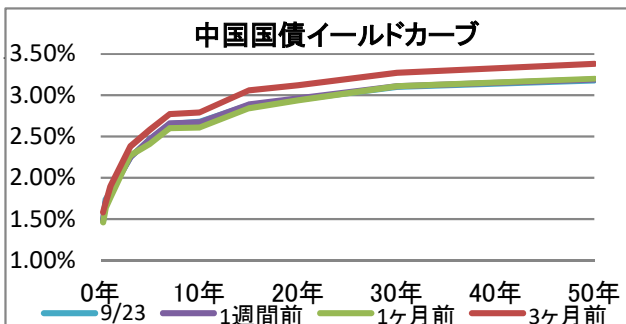
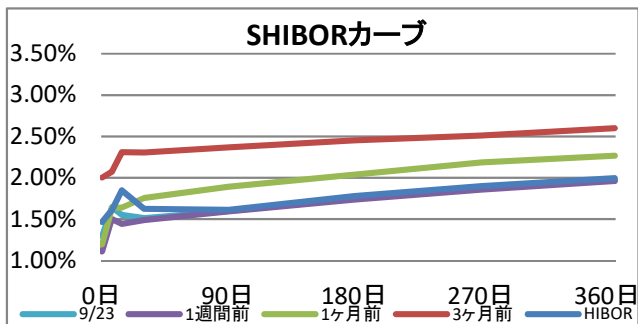


基準レート		2022/9/23	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9920	+0.0615
	JPY/CNY	4.9572	+0.1011
SHIBOR	3M	1.6120%	+0.0130%
国債利回り	10年	2.68%	+0.01%
上海総合指数		3,088.37	-38.03



(1) 概況

国際金融市場では、米FOMCでの+0.75%の利上げに続く欧州各国を含む各国の利上げにより、株安に加えてこれまで景気後退リスクを意識して落ち着いた長期金利が大幅な上昇（債券安）に転じており、ドル高の米国を除く多くの国でトリプル安の状況となっている。

中国金融市場でも、マクロブルーデンス評価が行われる四半期末を控えて中国人民銀行が積極的に資金を供給しているものの、短期市場では金利が高止まる状況が続き、債券利回りもLPR据え置きを受けて中長期も上昇に転じており、元安の流れも続いてトリプル安の状況となっている。

中国では、李総理が、日中国交正常化50周年前に日本経済界とハイレベルビデオ対話を開催し、対外開放政策等を更に進める考えを示し、日本経済界への機会獲得を促した。人民銀行は、副総裁がデジタル人民元の実証実験を中国全省に拡大する方針を示し、貨幣政策司の公表論文では金利自由化改革を一層推進する旨を、金融市場司の公表論文では、企業向け貸出平均金利が最低値を更新し企業の調達コスト引下げへの貢献を夫々アピール。更に、「人民元国際化報告」の中で、金融市場の双方向の開放をより高いレベルで推進する、オンショアとオフショア人民元市場の好循環を促進する等の方針を示し、証監会は、先物取引所管理弁法のパブコメ募集を開始。上海では、世界的な金融資産管理センターへの一助とすべく上海資産管理協会が設立。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースレポ期日80億元、中央国庫現金管理商業銀行定期期日400億元に対して、新規リバースレポ（7日物）100億元と同（14日物）900億元を実施し、ネットで520億元を供給し、四半期末越えの資金供給を積極化させている。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4650%	1.5000%	1.5500%	
1W	1.6080%	1.4600%	1.5000%	
2W	1.8500%	1.8600%	1.8500%	
1M	1.6250%	2.5000%	2.0500%	1.7500%
3M	1.6120%	2.5300%	1.8000%	1.6800%
6M	1.7810%			1.8500%
9M	1.9000%	2.1000%		1.9400%
12M	1.9950%	3.0000%		1.9900%

中国人民銀行が四半期末となる月末を越えるオペを積極的に供給しており、市場参加者に不安心理は生じていないものの、月末越えとなる資金の金利水準はじりじりと上昇。ターム物は四半期末となる9月末越えの1ヶ月が2%を越える水準に上昇して出合っている以外は限定的。

NCDも、四半期末越えとなる1ヶ月の1.7%台での取引が続いていることから、長めの期間でも金利水準が小幅ながら上昇している。ターム物は1ヶ月の1.75%前半、3ヶ月1.65%前後、6ヶ月が1.85%台後半、1年が1.9%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.05%	3.06%
1W	3.10%	3.15%
1M	3.20%	3.25%
3M	3.80%	3.90%
6M	4.10%	4.20%
12M	4.40%	4.60%

FOMCでの利上げ幅は+0.75%だったものの、政策金利見通しが上方修正されたことから、ターム物の金利水準も上方修正される展開。国内市場では、短期取引中心でターム物は1ヶ月の3.2%台での出合いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.48%		1.70%	1.73%	1.90%
6M	1.74%		1.86%	1.93%	2.11%
1Y	1.83%	1.99%	2.02%	2.08%	2.32%
3Y	2.25%	2.41%	2.45%	2.57%	2.95%
5Y	2.47%	2.62%	2.88%	2.92%	3.59%
10Y	2.68%	2.93%	3.24%	3.40%	4.16%

債券市場では、四半期末を控えて短期が上昇を続ける一方で、中長期は景気先行き懸念を背景に低下していたものの、米FOMCでの政策金利見直し上方修正とその後の欧州やアジア各国での利上げにより世界的に債券利回りが大幅に上昇すると、中国市場でも週後半には中長期利回りが上昇に転じて概ね前週末水準まで戻す展開。米国債利回りがFOMC後に大幅に上昇したことから、10年米国債利回り（3.68%、+23bp）の中国国債利回り（2.68%、+1bp）の上回り幅は+100BP（前週+22bp）に一段と拡大している。

イールドカーブは四半期末を前に短期が小幅ながら上昇を続ける一方、中長期は概ね前週末水準に止まっていることからフラットニングが続いている。クレジットスプレッドは信用債利回りが小幅に低下したことから一段と縮小。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-56.0 / -54.0
3M	-273.0 / -269.0
6M	-671.5 / -666.0
9M	-1094.0 / -1075.0
12M	-1513.0 / -1495.0

対ドル基準レートは6.9920と前週末比+615pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9572と同+1011pipsの円高元安と、対ドルでは市場での急激なドル高をけん制する格好の元高設定が続いている。中国国内市場では、米FOMCでの利上げに対し、中国人民銀行はLPRを据え置くこととしたものの、月末のドル決済需要もあってドル高抑制効果は限定的となり、1ドル7元を上回る水準での取引が続いている。

先物は、ドル金利上昇懸念からマイナス幅が一段と拡大しており、-1500目前まで低下している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.81%		1.39%
6M	1.88%	1.83%	1.55%
9M	1.93%	1.96%	1.62%
1Y	1.98%	2.08%	1.68%
3Y	2.26%	2.55%	1.94%
5Y	2.48%	2.87%	
7Y	2.63%	3.06%	
10Y	2.77%	3.25%	

スワップ金利は、前週同様に基準金利と利率債利回りの小幅上昇を受けた上昇が続いた。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも小幅ながら拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡する書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入